

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	黒岩・宮川
	全体計画			経費区分	-	内線	3425
事務事業名	4185 観光施設管理事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	05042700 観光資源の活用						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	070103 商工費・商工費・観光費					
	事業	010000 観光施設管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
観光客の皆様が、安全で快適に楽しんでいただけるよう、適切に施設の維持管理を行う。 施設の混雑時に駐車場等の適切な対応により、サービスの向上を図る。				米子大瀑布、五味池破風高原、峰の原高原等を中心とした観光地や、ふれあい健康センター(湯っ蔵んど)等観光施設の維持管理に係る事業			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
ふれあい健康センター(湯っ蔵んど)、蔵のまち観光交流センター等の指定管理や、米子大瀑布紅葉期のマイカー規制等により、各施設を適切に維持管理する。	ふれあい健康センター(湯っ蔵んど)、蔵のまち観光交流センター等の指定管理や、米子大瀑布紅葉期のマイカー規制等により、各施設を適切に維持管理する。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
ふれあい健康センター(湯っ蔵んど)、蔵のまち観光交流センター等の指定管理や、米子大瀑布紅葉期のマイカー規制等により、各施設を適切に維持管理する。	ふれあい健康センター(湯っ蔵んど)、蔵のまち観光交流センター、峰の原高原クロスカントリーコース等の指定管理や、米子大瀑布紅葉期の交通混雑対策等により、各施設を適切に維持管理する。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
ふれあい健康センター(湯っ蔵んど)、蔵のまち観光交流センター、峰の原高原クロスカントリーコース、市営駐車場の指定管理により、各施設を適切に維持管理する。	ふれあい健康センター(湯っ蔵んど)、蔵のまち観光交流センター、峰の原高原クロスカントリーコース、市営駐車場の指定管理や、米子大瀑布紅葉期の交通混雑対策等により、各施設を適切に維持管理する。

指標名	観光施設入館者数				
算式	湯っ蔵んど入館者数/年間				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標			298,000	299,000
	実績	290,624	288,019	284,433	278,971
指標選定の理由	施設管理事業にて維持管理を行っている施設であるため。				
最終年度目標の根拠	平成28年度目標に対し平成32年度入館者299,000人（年間4,000人増）を目指す。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決算	令和2年度 予算
事業費		55,144	76,736
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	2,128
	地方債	0	0
	その他	12,274	10,001
一般財源		42,870	64,607
人員数(人)	正規職員	1.3	1.3
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	9,444.5	9,444.5
	嘱託職員	848.7	848.7
	臨時職員	0.0	0.0
	計	10,293.2	10,293.2
市民一人当たりの経費		1.3	1.7
総額		65,437.2	87,029.2

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4	謝礼3
11節 需用費	13,297	消耗品費207、光熱水費304、修繕費12,785
13節 委託費	23,681	施設管理委託料1,022、保守委託4,180、指定管理者委託料14,817ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	9,018	市民無料入浴負担金8,988ほか
その他	9,144	役務費1,356、使用料賃借料2,020ほか

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	5	謝礼5
10節 需用費	32,638	消耗品費230、光熱水費636、修繕費32,000
12節 委託費	25,514	施設管理委託料1,115、保守委託5,000、指定管理者委託料14,817ほか
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10,029	市民無料入浴負担金10,000ほか
その他	8,550	報酬2,215、役務費1,560、使用料賃借料1,504ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の維持管理は、安全管理及び利用者の利便性向上のため必要不可欠である。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者や関係者との連携を図りながら、適切な維持管理に努めている。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の維持管理は、安全管理及び利用者の利便性向上のため必要不可欠である。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の維持管理を適切に行うため、引き続き指定管理者や関係者と連携を図る。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

観光施設の維持管理を適切に行うことで安全性の確保やサービスの向上を図り、来訪客の満足度を高めるためにも必要な施策である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

適切な維持管理は、来訪客の安全確保を図るために不可欠な施策である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--